

## 平成28年度 自己評価書及び学校関係者評価書（自己評価）

## ◇ 学校教育目標

- 1 高い志を持ち、自ら真理を探究する人間の育成
- 2 進取積極的に自ら社会に貢献する人間の育成
- 3 文化の創造と発展に寄与する人間の育成
- 4 逞しく生きるために体力と豊かな人格の育成

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	評価のポイント・改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標	生徒が充実した学校生活を送るよう支援する。	A	教科の学習だけではなく、特別活動などを通じた知徳体の調和がとれた教育活動が生徒、保護者に支持されている。引き続きバランスのとれた生徒への支援活動を充実させていく。	A	A
	自ら学び自ら考え、真理を探究する人間を育てる。	A	単位制の特色を生かした科目選択、総合学習や進路探究学習などを通じ、自ら学び自ら考える態度の育成を目指している。引き続き、授業改善や総合学習の見直しによって、教育活動の一層の充実を図る。	A	A
	広い視野に立って、生活や文化の発展に寄与する人間を育てる。	A	毎日の朝読書、総合的な学習などの積極的な取組みが広い視野をもつ生徒を育てている。今後とも、一層効果的な指導を模索しながら継続していく。	A	A
	他者への思いやりや正義感をもった社会に貢献する人間を育てる。	A	部活動・学校行事が積極的に行われ、ボランティア活動に取り組む機会や人数も増えてきており、社会に貢献できる生徒の育成に寄与している。今後とも指導をさらに工夫し充実を図っていく。	A	A
学校関係者評価委員からの意見 ・学校生活全般に対する満足度の高さは良好な評価として認められる。学習活動の拡充、総合的な学習の時間や学校行事、部活動、ボランティア等を通じて、生徒の多様な学習の機会が提供されることを期待する。 ・多様な教養を学習できる授業科目の充実が図られていることは良い評価として認められる。なお一層、多くの生徒の関心と能力に応えられることを期待する。 ・学校の授業と各自の学習意欲をつなぐ取り組みの充実が大切。詳細なシラバスを熟読して家庭学習に反映できるサポートを強めることを希望する。					
学習指導	授業を通して学習意欲を喚起し、基礎学力を定着させる。	B	継続的に授業改善に取り組み、教員は指導法を工夫している。「分かる授業」に努めているが、生徒の満足度は必ずしも高くない。また、家庭学習が十分になされていない実情がある。今後とも、さらなる授業改善に取り組み、生徒自らが積極的に学習に取り組む意欲を喚起していく。	A	B
	多様な選択科目を生徒自らの意思で選択し履修する。	B	概ね生徒の進路や興味関心に応じた科目選択ができているが、丁寧なガイダンスをしていく必要がある。選択科目は、生徒にとってより魅力的なものになるよう今後も見直していく。	A	A
	生徒の向上心に応え、適切に学習活動を支援する。	A	進学講習等の学習活動の支援体制は充実しており、生徒、保護者から高く評価されている。生徒がより主体的に取り組む姿勢の育成、その「しかげづくり」が望まれる。	A	A
	施設設備を整備し、有効で適切な利用を促進する。	A	講義室・体育施設などは使いやすいように整備されている。単位制の基本である共用の概念も教員・生徒の間には意識されている。	A	A

<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路講習に関する満足度の高さに対して、家庭学習がやや不十分であるとの状況について、生徒の学習の場を提供する等の対策が望まれる。</li> <li>・朝読書の重要性に着目して、成果を拡充し、読書の方法を再検討し、読解力、識字文章表現力等の向上に寄与されたい。</li> <li>・授業改善の取り組みとして、教育研究大会への積極的な参加はとでも評価できる。</li> <li>・生徒自らがポジティブに学ぼうとする意欲を認め、多彩な教養を会得できるように授業科目の充実が進められていると評価する。</li> </ul>					
生活指導	<p>自主自立の姿勢を育成する。</p>	B	<p>自主自立の育成の指導方針は、生徒・保護者ともに理解され支持されている。一方、生活規律の指導については、特に教員はしっかりできていないと考えている割合が多い。生徒の意識を高める指導方法の工夫が必要である。</p>	A	B
	<p>健全な社会生活を送るために必要な基本的な生活習慣を身につける。</p>	B	<p>生活規律の指導が不十分であると考えている割合が生徒保護者教員とも比較的多い。マナー・服装指導については粘り強い指導の工夫が必要である。登下校時の安全指導については、全体としての評価は低くはないが、交通事故などの未然防止に向けてさらなる啓発と安全指導の工夫が必要である。</p>	A	B
	<p>家庭との連携をはかり生活指導に臨む。</p>	B	<p>生徒・保護者・教員とも、生活指導に関して学校との連携が十分だと考えている割合は多くはない。学校からの配布物をHPに掲載したり、PTAメールを導入したりしたが、引き続き改善策を工夫していく必要がある。</p>	A	B
	<p>生徒会活動など特別活動への取り組みを支援し、社会性の育成の発揚を促す。</p>	A	<p>部活動や学校行事について生徒の満足度は高く、教員はそれらを社会性の育成の場として重要視している。生徒会の自主的な活動も一層充実し、地域への働きかけも行われている。</p>	A	A
	<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時の交通安全指導について、地道に継続した指導が必要。特に、夜間の無灯火の自転車については指導が必要。</li> <li>・ボランティア活動に注目し、生徒の参加意欲に働きかける機会を多くつくるなど、学校全体で地域との交流を進めていただきたい。</li> <li>・教員の「生活指導力」について、教員の職分の自覚を高め、教員皆さんでのご指導を進めていただきたい。</li> </ul>				
進路指導	<p>総合学習を通して、思考力・判断力を身に付け、進学先やその後の社会で活躍する力を育成する。</p>	A	<p>総合学習のゼミ活動については、課題発見・解決力や発信力を高めるという目的に向かって一層の工夫・改善が求められている。来年度に向けて、総合学習をさらに充実させるための検討を精力的に行っている。</p>	A	A
	<p>ガイダンス機能を充実させ、的確な進路支援を行う。</p>	A	<p>進路に関するガイダンス機能や相談体制は充実しており、生徒や保護者から高く評価されている。</p>	A	A
	<p>適切な進路情報の提供を通して、進路意識の喚起を目指す。</p>	A	<p>幅広い進路探究学習や学問研究を通じ、生徒は進路に対する興味関心、理解を深め、進路情報も十分提供されていると感じている。保護者への説明会等も充実させている。引き続き情報提供のしかた等を工夫していく。</p>	A	B
	<p>進路支援プログラムを充実させる。</p>	A	<p>学問研究会、進学講演会、進学講習など進路支援プログラムは充実している。生徒がより主体的な進路選択ができるように内容の充実を図っていく。</p>	A	A
	<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学問研究会・進路講演会と講習・ゼミ活動の関わりを見直して、「多様な進路支援のための学問研究」にはコミュニケーション能力の習得機会も多くあると伝えて、幅広い進路探究や学問研究への生徒の関心を継続していただきたい。</li> <li>・進路指導について、生徒と保護者は何を求め、教師は何を提供したいのか、適切な情報を提供して、信頼感の醸成に努められたい。</li> </ul>				

健康 安全 指導	生徒一人ひとりに対する理解を深め、適切な対応を行う。	A	教員は生徒からの相談事をしっかり聞き、適切な対応をしている。その姿勢は保護者から高く評価されている。	A	A
	心身の健康や安全に配慮した、バランスよい教育活動を行う。	A	心身の健康や安全に配慮しながら、それぞれの生徒に対応した適切な教育活動が行われている。今後とも知・徳・体のバランスのよい教育活動を行う。	A	A
	特別支援の体制を整備し、組織的に生徒の支援を行う。	A	サポート委員会を中心に、保健相談部、年次、SCが連携をとりながら支援する体制ができている。今後も、生徒や保護者の困りごとに対し適切に対応していく。	A	A
	<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <p>・一人ひとりの人間的成長に期待すると合わせて、精神的な不安やうつ状態に悩むことのないように、心と身体のケアについては、迅速な気づきと丁寧な配慮をお願いしたい。</p>				
広 報 ・ 連 携 等	保護者及び地域社会との連携に努める。	B	PTA 活動は活発に行われ、公開講座の実施など地域に開かれた事業も行われている。行事を地域に公開したり、地域の行事に生徒が参加したりすることもしている。今後も、機会をとらえて学校の様子を情報発信し、保護者や地域と一層の連携を進めていきたい。	A	A
	学校説明会、中学校訪問はじめ広報活動・情報発信の充実を図る。	A	学校説明会、中学校訪問、中学校からの訪問受け入れなどの広報活動・情報発信を積極的に行い、参加者に本校の教育実践について理解を深めていただいた。引き続き、ホームページ、学校説明会、中学校訪問などでの広報について戦略を練ってあたりたい。	A	A
	<p>学校関係者評価委員からの意見</p> <p>・学校祭はじめ様々な学校行事の内容が充実している。多くの部活動・生徒会活動への積極的な参加が、社会参画への動機にもなり、素晴らしい成果に結びついている。社会性を涵養する良い機会ともなっている。これからも生徒・教職員・保護者関係者が連携して取り組み、その成果をHPや学校便りから発信のMail実現を検討し、旭丘高校の伝統と成果を適宜適切にアピールしてほしい。</p> <p>・旭丘高校の伝統と素晴らしい成果を、学校関係者のみならず、地域や中学校等にわかりやすく広報していただきたい。高校から地域への回覧文書についても工夫が必要である。また、直接地域の行事にも引き続き参加していただきたい。</p>				
<p>旭丘高校として評価をうけての今後の課題</p> <p>学校生活全体に対する生徒及び保護者の満足度は高く、「進学重視型単位制高等学校」として、バランスのとれた質の高い教育実践が行われているとの学校関係者評価をいただきました。今後とも、学校関係者評価委員の方々の意見もふまえ、教育活動の一層の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習については、学習指導に関する研修の機会を積極的に設けて授業改善を進め、授業評価等も活用しながら、生徒が主体的に学習に取り組む態度の育成に努めます。幅広い選択を保障するとともに、自ら探究する姿勢を育てることを重んじながら、複数担任制によるきめ細かな指導を行います。</li> <li>・生徒の興味関心を広め、進路意識を高めるために、総合的な学習の時間や「ゼミ活動」を一層充実させる工夫をし、系統的かつ効果的な進路探究学習を行います。幅広い学力や高いコミュニケーション能力を身につけ、広く社会に貢献する人材の育成をめざします。</li> <li>・基本的な生活習慣の維持改善に努め、心身の健全な成長を促すとともに、自主的に判断・行動のできる生徒の育成をめざします。そのために、生徒と教職員の信頼関係をより強固にしていきます。また、保護者や地域との連携をより強固にし、健康やいのちを大切にする意識を高めるとともに、自他の人権を尊重し、望ましい社会の実現に積極的に関わる態度を養います。</li> </ul>					

<評 価> A・・・よく達成されている B・・・ほぼ達成されているが改善も必要 C・・・不十分である